



社の字を図案化した社協のシンボルマーク

いちかい 社協だより

発行兼編集
社会福祉法人
市貝町社会福祉協議会
市貝町市塙1720-1
市貝町保健福祉センター内
電話 68-3151(代)
FAX 68-3553
<http://www.ichikai-shakyo.org/>

市貝町社会福祉協議会は町民の協力によって運営されている福祉を進める民間の団体です。

司法書士無料相談会

借金で悩んでいる

登記で困っている

相続でもめている

成年後見の相談をしたい



司法書士による専門相談が受けられます。お気軽にご相談ください。

- 日時
 - 5月15日(水)、5月29日(水)
 - 6月19日(水)、6月26日(水)
 - 7月17日(水)、7月31日(水)
 - 予約開催日時
 - ★5月分予約開始 5月7日(火) 9:00~
 - ★6月分予約開始 6月4日(火) 9:00~
 - ★7月分予約開始 7月9日(火) 9:00~
 - 時間 午後1時30分~午後3時(お一人様 30~60分程度を予定しています。)
 - 場所 市貝町保健福祉センター(市貝町市塙1720-1)
 - 相談料 無料 ●申込み 事前の電話ご予約が必要となります(先着順)
- ※ご予約時に、ご相談内容を簡単に聞き取らせていただきます。
お一人様、原則1回のご相談とさせていただきますのでご了承ください。

寄付・善意のおくりもの・フードバンクへの寄付

善意のおくりもの

H31.2月~H31.3月	
赤羽 高橋	レゴブロック・クレヨン・バンドエイド
匿名	ダウン、洋服
匿名	中学校用制服(女子用)
匿名	中学校用制服(女子用)
匿名	中学校用制服(男子用)
匿名	中学校用制服(女子用)
匿名	中学校用制服(女子用)
石川笑子	中学校用制服(女子用)
匿名	中学校用制服(男子用) 校章・学年章
匿名	中学校用制服(男子用)

(敬称省略)

フードバンク

H31.2月~H31.3月	
匿名	食料品
匿名	食材、缶詰、スープ、お菓子

(敬称省略)

善意の寄付

H31.2月~H31.3月		単位=円
続谷ゴルフ愛好会	43,673	

(敬称省略)

平成30年度の善意寄付事業では、町内外59名(団体含む)の方より、食糧品、衣類、寄付金等のご寄付をいただきました。

この寄付いただきました金品については、社会福祉協議会が行う支援等に活用させていただきました。今年度も多くの町民の皆様にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

平成31年度市貝町社会福祉協議会

事業計画・予算



3月8日開催の理事会、3月22日開催の評議員会において、平成31年度の事業計画及び予算が承認されました。

本会では、町地域福祉活動計画に基づき、地域福祉課題の解決に向け、本会が地域福祉活動の総合的な推進役となり、住民だれもが安心して暮らせる地域社会の構築のため「学び合い・遊び合い・支え合う関係づくり」を基本理念として、住民が関わり各種団体と協働して地域に根差した支援活動を展開していきます。

【重点事業】

- ①災害ボランティアセンターマニュアルの整備
- ②権利擁護機能の構築
- ③地域共生社会の実現に向けた事業の取り組み
- ④各種団体と連携した福祉協力員制度の普及推進
- ⑤法人内各種制度等の住民啓発の強化
- ⑥福祉サービス事業の推進

※主要事業のみ掲載（重点事業【◎】 新規事業【○】）

1 社会福祉を目的とする事業	2 社会福祉に関する活動への住民参加のための援助
<p>【福祉活動者の充実及び機会の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎①生活課題の解決に必要なサポーター養成講座の開催 ②定期的なボランティア活動の機会の創出 ③障がい者の居場所づくり、福祉教育ボランティア活動 ○④福祉ボランティア連絡会議の推進 	<p>【社会参加の機会の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○①地域福祉座談会の実施 ②シニア組織の支援の充実（リーダー養成講習会） ○③障害者福祉支援の充実（スポーツ、外出訓練の推進） ◎④地域防災学習・災害ボランティアセンターマニュアル整備
3 社会福祉事業の調査、普及、宣伝、連絡、調整	4 住み慣れた地域で安心した生活を送るための事業
<p>【地域福祉に関する広報・周知・啓発等情報発信の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎①社協だよりの発行・ホームページなど広報の充実 ○②ボランティアポイント制度の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ◎①制度の狭間の問題に関する安心サポート事業の推進 ◎②権利擁護事業推進、小地域単位での啓発活動 ○③緊急一時支援事業（小口貸付・食糧支援）
5 生活課題への住民支え合い事業	6 法人の組織・機能強化
<ul style="list-style-type: none"> ①ボランティアセンター機能の充実 ○②防災・減災に向けた小地域活動の実施 ◎③おもいやりサポーター（福祉協力員）制度の推進 ④出前福祉教育（講座）の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎①理事会・評議員会の適正運営と法人運営の強化 ○②経営の透明性の向上 ○③地域福祉活動計画の進行管理 ○④社会福祉協議会会員制度の推進 ⑤法人役職員の研修事業の実施

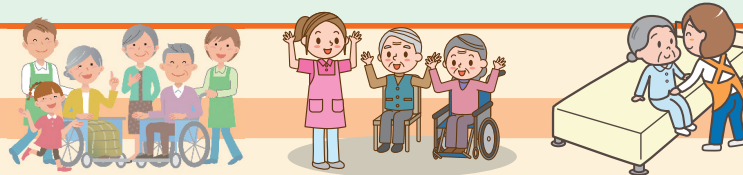
7 地域活動への支援

- ◎①コミュニティソーシャルワークの実践
- ②日本赤十字活動の推進
- ③赤い羽根共同募金事業の推進
- ④善意寄付事業の推進
- ⑤町内福祉団体の育成・支援事業
(当事者組織 10 団体)
- ⑥社会福祉法人の地域貢献活動の推進

8 受託事業の適正運営

- ①心配ごと相談事業
- ②配食サービス事業
- ③生きがいデイサービス事業
- ④放課後児童健全育成事業
- ⑤高齢者ボランティアポイント事業
- ⑥多機関の協働による包括的支援体制構築事業
- ⑦地域力強化推進事業
- ⑧共助の基盤づくり事業

収支予算



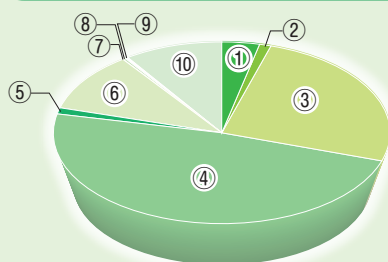
(1) 社会福祉事業

①法人運営事業	16,602千円
②すぎのご基金事業	5,820千円
③ボランティア協力基金事業	1千円
④生活福祉資金事業	75千円
⑤共同募金配分事業	2,450千円
⑥配食サービス事業	2,434千円
⑦放課後児童健全育成事業	13,076千円

⑧生きがいデイサービス事業	319千円
⑨心配ごと相談事業	140千円
⑩総合相談事業	21,581千円
⑪ボランティアポイント事業	390千円
⑫小口資金貸付事業	600千円
⑬相談支援事業	160千円
⑭法人後見事業	1,108千円

総合計 64,756千円

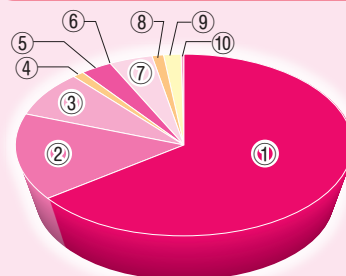
収 入



収入合計
64,756千円

①会費収入	2,385千円
②寄付金収入	700千円
③経常経費補助金収入	16,440千円
④受託金収入	31,373千円
⑤貸付事業収入	600千円
⑥事業収入	6,820千円
⑦受取利息配当金収入	23千円
⑧その他の収入	155千円
⑨障害福祉サービス等事業収入	160千円
⑩基金積み立て資産取崩収入	6,100千円
収入合計	64,756千円

支 出



支出合計
64,756千円

①人件費支出	42,205千円
②事業費支出	9,969千円
③事務費支出	5,351千円
④貸付事業支出	600千円
⑤共同募金配分金事業費	2,050千円
⑥負担金支出	47千円
⑦固定資産取得支出	2,700千円
⑧基金積立資産支出	700千円
⑨その他の活動による支出	1,034千円
⑩予備費支出	100千円
支出合計	64,756千円

地域福祉活動紹介コーナー (地域で集まる場を作ろう!! Vol.4)

(続谷アクティブシニアの会) ～地域の社会資源を活用した住民活動～

活動情報

主 活 動	健康向上の活動 (健康体操)
活動頻度	毎月2回 (第1・第3金曜日 午後2時から午後4時)
代 表 者	関澤 昭さん (シニアクラブ代表)
会 場	杉の樹園コミュニティルーム

地域の社会資源を活用した活動を展開!!

シニアクラブが主体となり、日頃から続谷地区の社会資源である特別養護老人ホーム杉の樹園のコミュニティルームを活用して住民の健康向上に向けた健康づくり体操をおこなっています。

コミュニティルームを活用しているため事業所スタッフとの交流も図られています。去る3月に地域防災学習を自治会・事業所スタッフが協働して行いました。

続谷地区の“いいね”活動は、『自治会の公民館と地域のコミュニティスペースを用途に応じて使い分ける』ことで、住民が参加しやすい環境の整備を行っています。



事業所スタッフが指導者となり避難誘導の訓練

「地域に密着した事業が盛りだくさん」

シニアクラブとして「収穫祭」や「ぼうじぼ作り」など、多世代交流として様々な面で協力しながら、またシニアクラブの事業としても、「そば打ち体験」や「研修事業」など、地域住民が集う事業に研修の要素を混ぜ込み、楽しみながらも学ぶことを心がけているのが特徴です。



定期的な学習会後の交流会

日本赤十字社 平成31年度『日本赤十字会員募集』のご案内 赤十字活動は皆様に支えられています

日本赤十字社が実施している国内の災害救護活動や、国際救援活動、また町内で行われている各種救急法などの講習普及事業、学校などで行う青少年赤十字活動 (JRC) など、様々な活動は、財政面で支援する「協力会員/会員」の皆様からの「会費」と、広く皆様からお寄せいただく「寄付金」を合わせた「活動資金」によって支えられています。

日本赤十字社会員について

「協力会員」・・・年額500円以上の会費の協力をしてくださる方

「会 員」・・・年額2,000円以上の会費の支援をしてくださる方

平成30年度 市貝町実績 1,232,500円



幼児安全救急法の様子
(市貝町保健福祉センター)



全ての連絡・相談・お問い合わせ先

社会福祉法人 **市貝町社会福祉協議会**

住 所：市貝町市塙 1720 番地 1 (市貝町保健福祉センター内)

電 話：0285 - 68 - 3151 F A X：0285 - 68 - 3553

H P：http://www.ichikai-shakyo.org/ L I N E 080-8887-7854 ※電話番号でもどち追加してください。



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金により作成されています。